

臨時災害放送局開設を想定した調査を実施

—九州管内で初めて地方公共団体等と共同で実施—

九州総合通信局は、10月6日（火）に、八女市及びFM八女との共同で、臨時災害放送局開設を想定した調査を実施しました。

これは、被災時における住民への情報伝達手段として臨時災害放送局を八女市役所本庁に設置した場合の八女市内全域での受信状態を調査することにより、その設置場所、空中線電力等の有効性を確認したものです。

ここで得られたデータは、今後の市地域防災計画の策定等における基礎資料として役立つものと期待されます。

当局では、平成26年9月より災害時において地方公共団体からの要請を受け、臨時災害放送局用機器を無償で貸し出すことにより災害情報等の伝達を支援する体制を整備しています。

今後も、被災時における当該機器の貸与はもとより、各種防災訓練への参画や、臨時災害放送局開設を想定した送信点調査など、地方公共団体からの要望に応じて積極的に対応することとしています。

【調査内容】

- 1 日 時：平成27年10月6日（火）9時から15時30分まで
- 2 調査区域：八女市一円
- 3 無線機器設置場所：八女市役所本庁（福岡県八女市本町647）
- 4 空中線設置場所等：八女市役所本庁屋上　　ダイポール（水平偏波）
- 5 周波数等：F8E　87.5MHz　100W
- 6 調査方法：八女市イメージソング等を試験放送し、八女市内各方面に6台の車両を走行させてカーラジオ及び携帯ラジオの受信状況を確認した。
- 7 調査結果：八女市役所本庁が八女市西部に位置しており、また標高も低く、八女市東部の旧矢部村、旧星野村等の周辺山間部において、不感の地域もあったが、幹線道路では概ね良好に受信できた。

【調査風景】



送信空中線遠景（八女市役所庁舎屋上）



試験電波発射中



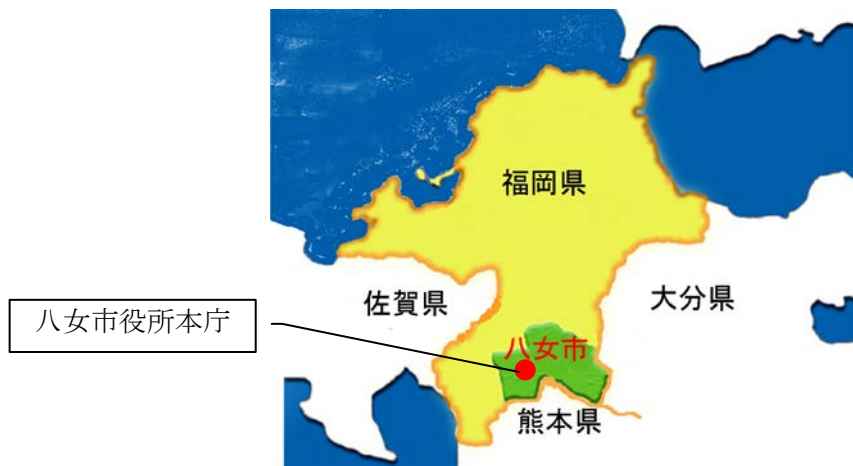
送信設備（音声部・送信部）



送信空中線設置近景



FMラジオによる受信品質を評価中



【福岡県八女市の位置】

<参考>

- (1) 臨時災害放送局とは、災害が発生した時に被災自治体が免許人となって地域住民に安全・安心に関する情報を提供する放送局です。災害発生時に速やかに開設するため同放送局の免許は「臨機の措置」により各総合通信局に電話で申請することが可能です。（後日、書面による申請が必要となります。）
- (2) また、当局では、災害時における自治体の災害復旧対応を支援するため、移動通信機器や移動電源車を貸与する体制を確保しています。

お問い合わせ先：放送部放送課（096-326-7871）